

Soccer News Shiga

サ ッ カ ー ニ ュ ー ス し が

(発行)滋賀県サッカー協会
(責任者)理事長 奥村 弘
滋賀県栗東市小野796
TEL 077-553-5769
FAX 077-553-5788
e-mail shigafa@oregano.ocn.ne.jp
URL http://www.shigafa.com
(印刷)株式会社スマイ印刷工業

3つの全国優勝!!

ルネス学園甲賀が全国専門学校選手権で優勝!

●第14回全国専門学校選手権大会●「平成16年10月15日(金)～20日(水) 北海道札幌市」

日本スポーツ科学専門学校 5
広島YMCA健康福祉専門学校 1P4 0 12
大原法律公務員専門学校 1K3 0
福岡リゾート＆スポーツ専門学校 1P9 0 2
名古屋リゾート＆スポーツ専門学校 1K10 1
SOLA沖縄専門学校 0
仙台大原簿記公務員専門学校 4 6
日本工学院八王子専門学校 4 0
YMCAスポーツ専門学校 0 3P3 2
日本ウエルネススポーツ専門学校 3K1 3E
大阪ハイテクノロジー専門学校 5 3 10
履正社学園コミュニティスポーツ専門学校 0 0
IEC九州国際カレッジ専門学校 0 0
群馬自動車整備専門学校 3 0
静岡医療科学専門学校 2 2
大阪社会体育専門学校 4P5 4
札幌商工会議所付属専門学校 4K4 0
大原簿記法律専門学校津田沼校 0 8
吉田学園社会体育専門学校 9 0
甲賀健康医療専門学校 6

3位決定戦

仙台大原簿記公務員専門学校 0
履正社学園コミュニティスポーツ専門学校 3

今年度のおもな戦績

- 第14回関西専門学校選手権(平成16年8月) 準優勝3-3(PK2-4)履正社コミュニティスポーツ専門学校
- 第10回滋賀FACUP(平成16年9月) 優勝(8年ぶり2回目)
- 第84回天皇杯全日本選手権に滋賀県代表出場
2-3 三菱自動車水島(岡山)・1回戦
- 第14回全国専門学校選手権(平成16年10月) 優勝(2年ぶり2回目)
滋賀県社会人1部リーグ
優勝(1996年から連続7回目、1997年と2003年は関西リーグ所属)
- 第39回府県リーグ決勝大会(平成16年12月～1月) 予選リーグ2位
昇格決定戦 4-0海南FC 昇格決定戦 1-1(PK4-3)京都伏見蹴友会!

平成16年10月15日から20日に北海道札幌市で全国専門学校サッカー選手権大会が開催され関西代表として参加させていただきました。結果のほうは、4年連続の決勝戦で2大会ぶり2度目の優勝を飾りました。近年は、他の地区の専門学校も力をつけてきており、大会のレベルも向上し、準決勝以上は他県の天皇杯優勝チームなどになってきております。その中で優勝を勝ち取れた要因は滋賀県リーグの中で多くの試合や経験をさせていただいたことです。そしてわれわれのチームはこの大会で得た経験を滋賀県に持ち帰り大会、リーグを盛り上げたいと思います。最後に応援していただいた方、役員のみなさま有難うございます。

全国スポレク祭壮年サッカーの部

(50歳以上)でブロック優勝

会場 まるおカスポーツランド
会期 平成16年10月2日(土)～5日(火)
近江ぼてじゃこFC 監督 谷川尚己

シニア50(50歳以上)は、今年度の福井での全国スポレク祭において、3-0新潟県・3-0宮崎県・3-2鳥取県と、3戦3勝でブロック優勝を果たしました。この結果、全国スポレク祭では4年連続でV4を達成しました。サッカー協会主催の全国シニア関西予選では、1-0で兵庫県に勝利しましたが、決勝戦では、京都府と対戦し、1-0の延長Vゴール負けで全国大会に出場を逃しました。17年度においては関西枠1を突破し、全国大会優勝を目標にがんばりたいと思います。

吉原 茂雄	平井 由夫	西長 明彦
池田 光秀	谷川 尚己	西 博
立入 等	渡辺 生夫	山田 益弘
谷 但	松川 正洋	小田 正行
井用 敏昭	成田 政晴	星野 正樹
中島 巳喜雄	中田 保	松山 喜久雄

ねんりんピックぐんま(60歳以上)でブロック優勝

会場 烏川緑地サッカー場・スポーツ広場 藤岡総合公園陸上競技場
会期 平成16年10月17日(日)～18日(月)

第17回全国健康福祉祭群馬大会参加報告

滋賀選抜チーム監督 松本忠弘

ねんりんピックぐんまサッカー交流大会は全国都道府県より60歳以上の選手監督800名が参加し平成16年10月17日(日)～18日(月)にかけて群馬県藤岡市の4会場6コートでA～Kブロック別大会に滋賀県選抜チームが参加し競技組合せに依り1ブロックで3試合戦った。

- ①17日(日)第1試合烏川緑地サッカー場Cコートで13時30分キックオフで滋賀選抜(滋賀県) 3-2 信州惑々サッカークラブ(長野県)
- ②17日(日)第2試合烏川緑地サッカー場Bコートで15時30分キックオフで滋賀選抜(滋賀県) 2-0 山形選抜(山形県)
- ③18日(月)藤岡市総合運動公園陸上競技場で10時30分キックオフで滋賀選抜(滋賀県) 1-1 赤城FC60(群馬県)

上記結果1ブロックで勝点7で滋賀選抜チームがブロック優勝致しました。これも年齢をものともせず毎週木、土曜日に練習をした努力の積みかさねと家族の理解とチーム一致団結が成し得たものと感謝致しております。これからも健康に十二分に気を付けて生涯スポーツに励み滋賀県のサッカー発展に頑張ります。

No	氏名	年齢	住所
1	永井 彰	73	大津市
2	杉山 勇	70	大津市
3	前川 博志	69	大津市
4	奥村 芳明	68	草津市
5	桑名勇三郎	67	大津市
6	川村 光男	67	大津市
7	皆木 滋男	66	草津市
8	松井 貞夫	64	湖南市
9	松本 忠弘	64	大津市
10	高木 寛治	64	大津市
11	堀出亀與嗣	64	守山市
12	深田 国忠	63	湖南市
13	有本 義雄	63	大津市
14	中辻 久雄	62	志賀町
15	片岡 定男	62	大津市
16	松本栄一郎	62	湖南市
17	平井 隆雄	62	栗東市
18	中井 洋夫	61	甲賀市

平均年齢: 65.05才



滋賀県サッカー協会新規事業の報告

理事長あいさつ

滋賀県サッカー協会

理事長 奥村 弘

今年度は各種委員会の事業はもちろんのこと、キッズプログラムをはじめ日本サッカー協会のCHQ関連事業に各プロジェクトチームを組織して取り組み、順調に推移、大きい成果をあげていることを大変嬉しく思っております。ミニ国体で成年男女チームが、本大会出場は逸したものの、共に準優勝したことや、少年チームが本大会でベスト8に輝いたことは誇るべきことであり、さらに、ルネス学園甲賀が全国大会で優勝し、関西リーグに昇格したことは、滋賀県を全国にアピールする絶好の機会となり、滋賀のサッカーの躍進を確信できました。

来年度は社団法人として新たな出発をすることになります。また、フットボールセンター設立、スポーツクラブ創設など、9月の専用グラウンド完成を機に、ますますそれぞれの事業に拍車がかかると思います。近未来にJリーグへの参戦をめざすチームが発足し、Jリーガーを夢見る選手たちの発掘、育成、滋賀県のサッカーのますますの活性化を図る礎の事業として強力に遂行していきたいと考えています。また多くのサッカー愛好者のために充分に活動のできる環境を整備していくことも重要な課題であり、現状調査を分析し、改善できるよう取り組みを強化したいと思います。

最後に、皆さまからご理解ご協力をいただき、みんなの手で今後の滋賀県サッカー協会を発展させていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

1. SFAキッズプロモーション

JFAキッズプログラムのモデルFA（パイロットFA）として2003年度～2007（H19）年度まで実施

・キッズ委員会を松本副会長を中心に月1回開催

JFAパイロットFAとして2年目は、250名の指導者養成、1800回の幼稚園・保育園・小学校へ派遣指導、3回のJFAキッズフェスティバル、9回のSFAミニフェスタ、4回の井原アンバサダーによるクリニック、指導者および保護者へのアンケート調査などを実施した。3年目は、従来のU-6とU-8に加えU-10対象の派遣指導やフェスティバルを計画、あわせてミッション5「エリート養成」成長期に合った体力づくりを行いながら、サッカー選手として才能のある子どもを見だし、トップアスリートに育てる体制づくりを行います。

2. 「法人化」準備委員会

ミッション9地域／都道府県協会の活性化事業にそって、2003年度から開始

・委員会を森津副会長を中心に8回開催

・2005年4月からの社団法人滋賀県サッカー協会を目指し、監督官庁である教育委員会の指導を受け、法人設立のための書類を整えている。当初の予定から遅れたが、2005年2月20日（日）18時30分から栗東ウイングプラザで社団法人設立総会を開催する。

・今後は各種別・委員会の会計の整理、法人格取得後の常勤職員等の規定作成などを進める。

・来年2005年度は、社団法人として細部をつめる委員会に発展する。

3. フットボールセンター設立準備

サッカーを中心としたモデル的スポーツ環境整備助成事業（助成区分B）に2004年3月末に採用され、守山市とともに事業開始

・天然芝1面、人工芝1面（メインピッチ・観覧席あり・照明付き）、人工芝1面（多目的・照明付き）、クラブハウス1棟（サロン兼研修室、更衣室4室あり）の建設図面が完成し、2005年1月に着工した。メインの人工芝1面とクラブハウスは2005年8月の完成予定で、滋賀県サッカー協会事務所もクラブハウス内に移転する。2005年10月からメインの人工芝1面の貸し出しを開始する。多目的の人工芝1面は2006年1月からの貸し出し予定で、天然芝は2005年夏には完成するが夏から冬にかけて芝を根づかせるため養生期間とし、2006年春からの貸し出しを予定している。

・今後は守山市と使用料や使用規定等の検討を進める。

4. スポーツクラブ創設準備委員会

上記事業のフットボールセンター建設にともなうスポーツクラブ創設の事業として、今年2004年度から開始。

・委員会を橋本副会長を中心に5回開催

・地域総合型スポーツクラブの設立を目指し、まずサッカーのトップチームとして滋賀FC（仮称）を2005年度に設立、登録し、滋賀県1部リーグに特例措置として新規参入させる。そのトップチーム編制を社会人連盟と協働ですすめ、松下哲広監督（国体成年男子監督）を中心に選手募集2/20・2/27にセレクションを実施する。

・来年2005年度は、創設した滋賀FC（仮称）の経営委員会に移行、発展する。

5. 施設調査委員会

ミッション9地域／都道府県協会の活性化事業チャレンジFA制度に採用され、今年2004年度～2006（H18）年度まで実施。

・委員会を北村副理事長を中心に月1回開催

・県下約300ヶ所の多目的広場、体育館の現状調査を4種各ブロックに委託し、現在集約中。今後は調査用紙の回収とデータベース化を進め、

2005年4月には滋賀県サッカー協会公式ホームページに施設情報としてアップする予定。

・今後は調査した各施設的环境評価指数を決定し、施設設備の充実を図り、3年後に環境評価指数を30%向上させる。

6. 中学生年代の活性化

ミッション4中学生年代の活性化トライアルFA制度に採用され、今年2004年度～2006（H18）年度まで実施。

・安土3種代表理事を中心に事業を推進。

中学3年生夏以降のトレーニングと試合を確保するため、今年度はモデル事業として栗東市内の3中学校を対象に実施しました。参加者は21名で、毎週火曜日JRA栗東トレセングラウンドでのナイター練習と、月に1度程度、近隣の高校生と試合を組みました。1月からは栗東市民体育館で行われているフットサルの大会に参加しています。

目的意識の高い選手が集まってくれたことや、指導してくれた栗東FCのコーチのおかげで充実した取り組みになりました。また、栗東市外から参加してくれた選手もあり、その輪をもっと広げたいと考えています。

来年度も継続してこの事業は行うことになっています。学校・クラブの枠を取り払い、もっと多くの意欲のある選手に参加してもらいたいと考えておりますので、ぜひ、参加の程よろしくお願い致します。来年度の募集については、8月以降協会HPに載せますのでご覧下さい。

7. 女子サッカーの活性化

ミッション6女子サッカーの活性化トライアルプロジェクトに採用され、今年度から実施。

・安土3種代表理事を中心に事業を推進。

「女子トレセン活動の充実」現在、女子トレセンは3つのカテゴリー（U-12・U-15・U-18）で取り組んでいます。特に今年度は、U-15中学年代を充実させるため、登録選手の把握から選考会の実施・定期的な練習会を組みました。それとトレセン活動のアピールとして、滋賀県女子トレセンオリジナルのジャージをつくり、試合や移動に着用しています。このジャージを見て、多くの女の子がサッカーをはじめてくれたらと思います。

来年度は、キッズからの一貫指導プランの作成や普及活動にも力を入れたいと考えています。今後も継続的に取り組みたいと考えていますので、各チームでも女子選手の発掘と育成に協力していただけるようよろしくお願いします。

技術委員会指導普及部よりお知らせ

日本サッカー協会は、平成16年度より新しい指導者資格制度に伴い、新たな登録手続きを全員実施（まだ有効期限のある方も）しております。過去に指導者資格を取得された方で、（旧B級コーチ、旧C級コーチ、旧地域C級スポーツ指導員、旧少年少女サッカー指導員、準指導員）まだ登録手続きを済まされておられない方が多数おられます。

平成16年の3月初旬にJFAより案内（登録申請用紙・テクニカルニュース創刊準備号）が送付されていない方、手続きを忘れておられる方は、本年度中に登録手続きをしないと資格を抹消されますので至急下記のところまで連絡し、手続きを行って下さい。

問い合わせ先等、手続き方法

- ① 日本サッカー協会・指導者登録係
TEL 03-3830-1860
- ② 日本サッカー協会のホームページより
指導者登録手続きのサイトから「預金口座振替依頼書」等をプリントアウトし手続きを行なって下さい。

草津東高校

今年度のおもな戦績

- 滋賀県春季高校総体(平成16年6月)
優勝(2年連続6回目)
- 第57回近畿高校選手権(平成16年6月)
優勝(5年ぶり3回目)・フェアプレー賞
- 全国高校総体(平成16年8月)
ベスト8(3回戦0-1市立船橋:千葉)
- JFAプリンスリーグU-18関西2004(平成16年8月)
準優勝(1-2ガンバ大阪ユース)
- 滋賀県秋季高校総体(平成16年11月)
優勝(3年ぶり7回目)
- 第83回全国高校選手権(平成17年1月)
1-0 丸岡(福井)・・・1回戦
2-2(PK2-3) 那覇西(沖縄)・・・2回戦



ルネス学園甲賀が関西社会人リーグ昇格!

府県リーグ決勝大会 昇格決定戦(1/22)

ルネス学園甲賀 1-1 京都伏見蹴友会
(滋賀県リーグ1位)(4PK3)(京都府リーグ2位)

おおつヴィクトリーズが関西女子リーグ昇格!

関西リーグ・チャレンジリーグ入替戦(1/23)

おおつヴィクトリーズ 2-1 USED高槻
(関西チャレンジリーグ4位)(関西リーグ9位)

栗東中学校

全日本ユース(U-15)
フットサル大会

順位	チーム名	C-1	C-2	C-3	C-4	勝点	得点	失点	得失差
3	C-1 栗東中学校サッカー部[関西/滋賀]		4●5	5●8	9○4	3	18	17	1
2	C-2 F.C.ジョカトーレ関[東海/岐阜]	5○4		4○2	4●5	6	13	11	2
1	C-3 柏レイソル盛岡[東北/岩手]	8○5	2●4		10○8	6	20	17	3
4	C-4 高崎フットサルクラブ[関東/群馬]	4●9	5○4	8●10		3	17	23	-6

グループリーグ3位で、決勝トーナメント進出できず。

「第10回全日本ユース(U-15)フットサル大会」に参加して

栗東中学校サッカー部 松田充史

県大会が8月、関西大会が9月に行われ、勝ち進んだものの、全国大会が1月という時期にあり、関西大会から全国大会までの期間は長かった。3年生を出場させていたため、受験期も目前にせまる中、選手のモチベーション維持に苦労したのが実状であった。

県協会にも協力して頂き、県リーグの社会人とも練習試合をやらせて頂いた。学校の体育館は、日常は他の部活動が使用するため、使えず、夜間開放も行われているため、始業時間前の朝のみ練習をして、全国大会に備えた。

全国大会は各チームとも足裏のボールコントロールはもちろんのこと、スイッチプレー、スクリーンプレーなどを有効に生かしていた。サッカーの感覚からフットサルの場合、そういう感覚を重視することを強く感じた。そして、攻守のきりかえ、守備の重要性である。決勝トーナメント進出はできなかったものの、全国大会の場に出場して、選手は大きな経験を積んだと思われる。県サッカー協会のフットサル委員長の山本氏をはじめ、関係者各位の協力に感謝しております。ありがとうございました。

笠縫オレンジボーイズ

バーモントカップ

全日本少年フットサル大会

一次リーグ	四箇郷	笠縫	木曾	順位
四箇郷少年SC(和歌山)		5●7	1●5	3位
笠縫オレンジボーイズSC(滋賀)	7○5		5●8	2位
木曾選抜フットサルクラブA(長野)	5○1	8○5		1位

フェニックストーナメント

(1次リーグの各グループ2位)

- 笠縫オレンジボーイズSC(滋賀)

2 - 6

○安芸FC U-12(広島)

草津東高校サッカー部全国高校選手権登録選手

位置	背番号	名前	学年	U15所属チーム	U12所属チーム
GK	1	勝井 航治	3	甲南中	甲南第一小
DF	②	花谷佑一郎	3	ガンバ大阪	山手台FC
DF	3	原田 啓二	3	守山北中	川西小
DF	4	小寺 智久	3	松原中	オレンジボーイズ
DF	5	畑 尚行	3	アズー滋賀	三上FC
MF	6	馬場 悠企	3	近江兄弟社中	馬淵小
MF	7	桑原 透記	3	藤森中	深草小
MF	8	三反田尚希	3	高槻二中	FCオールズ
FW	9	梅川 毅士	3	日吉中	雄琴小
MF	10	山本 伸治	3	オールサウス	老上小
FW	11	川島 良太	3	近江兄弟社中	武佐小
MF	12	井上 貴	3	甲南中	希望ヶ丘小
DF	13	吉山 幸宏	2	オールサウス	平野SSS
MF	14	藤井 啓輔	3	玉川中	玉川小
MF	15	竹中 陽祐	2	オールサウス	大宝SSS
MF	16	井上 高志	3	葉山中	葉山小
GK	17	高橋 祐樹	2	彦根東中	彦根FC
DF	18	横田 修吾	3	甲南中	甲南FC
FW	19	粕渕 健太	2	神照FC	坂田FC
DF	20	青木 陽	2	葉山中	葉山GFC
GK	21	横田 憲司	3	バーニングブラッド	高月SSS
FW	22	望月 将悟	3	城山中	水口小
FW	23	渡辺 大介	3	水口中	綾野小
FW	24	岡本 亮祐	1	竜王中	竜王SSS
FW	25	北野 雅寛	1	オールサウス	唐崎SSS

代表者 島田安規
監督 松田充史

背番号	選手氏名	学年
1	中村 晋	3
2	村田 篤史	3
3	上野 竜	3
4	千代 綾吾	3
5	津々木康平	3
6	前山 茂太	3
7	社納 優太	3
8	藤野研太郎	3
9	櫻井 賢人	3
10	中嶋 亮	3
11	南田 優太	3
12	大林 正裕	3
13	大石 利一	3
14	中井 智基	3
15	竹内 亮	3

監督 塩田 友
コーチ 五十嵐信博

背番号	選手氏名	学年
1	雪竹 大樹	6
2	吉川 拓馬	6
3	権田 赫大	6
4	朝倉 直哉	6
5	前田 大貴	6
6	飯田 泰己	6
7	林 龍太郎	6
8	竹原 健悟	6
9	山下 嗣紋	6
10	端 拓也	6
11	安宅 修平	6

全日本少年フットサル大会に参加して

笠縫オレンジボーイズサッカークラブ 代表 五十嵐信博

ここ4年間で3度、通算4度の全国の舞台を経験している私たち指導スタッフにとっては、県予選、本大会を万全の準備をして臨みました。チームも昨年決勝トーナメントに進出したチームより高いレベルでしたし、「最低でもベスト8」進出を狙っていました。

予選リーグ初戦は堅さもあり不本意な内容でしたが、それでも終盤一気に突き放し、順調な滑り出しでした。予選リーグ2試合目(最終戦)は長野県代表の木曾選抜との対戦でしたが、相手チームは私たちの初戦をゲームをスカウティングする機会がありましたが、私たちは相手チームの初戦ということもありふたを開けるまで全くわからない中でのゲームとなりました。身長170cmを超える選手を含み大型選手を揃えた相手チームに一方的に攻めましたが、その都度絵に描いたようなカウンター攻撃で失点を重ね、「パワー」に押し潰された感じのゲームになってしまいました。

しかし元来フットサルは「テクニックとスピード」で戦う競技です。今回の敗戦を教訓によりレベルの高いチームを作って再度「全国」に挑戦したいと思います。

滋賀県に9年ぶり

1級審判員が誕生

今村義朗さん(27才、東レ滋賀所属)

1級審判員の不在県は、全国で6県、その中に我が県も残念ながら長い期間、加わっていません。

全国審判委員長会議や関西の各種大会等でことあるたびに、滋賀の1級は、まだかまだかと、滋賀県内はもちろん、関西や全国の皆さんにご心配をかけていました。

昨年の12月18日日本協会の理事会で承認を得て、滋賀県からは、森津陽太郎氏(現・日本協会審判委員会強化部長、滋賀県サッカー協会副会長)以来9年ぶりに1級審判員・今村義朗さんが誕生しました。

やっと、念願でありました1級審判員が誕生し大喜びをしています。お祝いのお言葉を各方面からいただき、これまで彼に対して下さったご厚情に、いまさらながら感謝しております。

◎1級審判員…全国で107名、Jリーグ主審、Jリーグ副審、JFL主審、JFL副審、その他、カテゴリー分けのもとに各ゲームに審判員割り当てがある。

◎上級の審判員…Jリーグ担当審判員(全国でJ1主審が19名、J2主審が16名)

国際審判員(全国で国際主審が10名、国際副審が10名、女性国際主審が1名)

◎滋賀県内の登録審判員

1級	(日本サッカー協会管轄の試合の主審ができる審判員)	1名
2級	(関西サッカー協会管轄の試合の主審、および、日本サッカー協会管轄の試合の副審ができる審判員)	23名
3級	(滋賀県サッカー協会管轄の試合の主審、および、関西サッカー協会管轄の試合の副審ができる審判員)	106名
4級	(初心者としての審判員)	1463名



滋賀県高校サッカー決勝の今村主審

◎1級審判員になるために

1級審判員になるためには、関西各府県で、35歳までの2級審判員から有望な方を選出します。

1月末に体力テスト(12分間 3000m)とルールテスト70点以上、これをクリア出来た人が春の関西学生2部のゲームで主審に割り当てられ、インストラクターの指導を受け、評価されます。ここで8人程度に絞り込まれた後は、近畿高校、ミニ国体、秋の大学2部、プリンスリーグに割り当てられ、評価を受け5人に絞られます。

関西では選ばれた5人が次年度の全国1級テスト(1次～3次)を受けることになります。

◎今村義朗氏のコメント

はじめまして、今村義朗(よしろう)と言います。出身は愛知県尾西市です。もうすぐ一宮市と合併してしまい悲しい思いをしています。

私は小学生の頃よりサッカーを始め、中学・高校とやってきました。高校のときプロを目指したいと思い親の反対を押し切って、この滋賀県のにきてルネス学園甲賀総合科学専門学校に入学しました。学生のとき天皇杯に出場2回戦、滋賀選抜として2度国体を経験し現在、滋賀社会人1部東レサッカー部のいちプレイヤーとしてがんばっております。

審判をするきっかけとなったのは学生時代、練習試合をするときにたまたま笛を吹く人がいなく吹いたのが始めて、その当時の監督さんに、いい感覚!!といわれ県サッカー協会に紹介され笛を見てもらい3級を取得、1998年6月に2級を取得したのが経緯です。

プレイヤーと審判という2足のわらじをはきながら、滋賀そして関西の1級審判候補としていろいろな経験をさせてもらいどうにか昨年12月1級に合格しました。色々な角度からサッカーというスポーツを見つめることができるラッキーな立場であることを生かし、プレイヤーはできなくなってゆくと思いますが、もっともっと勉強し上級の審判を目指していきたくと思います。ボールをけりはじめた小さな子供から、サッカーという競技に本格的に打ち込まれている先輩方まで、弱者ではありますが地元・滋賀県サッカーの発展のためがんばっていきたくと思っています。

又、何処かのピッチで見かけたら気軽に声をかけてください。最後に、ここまで育ててくれた父・母に感謝するとともに、以前住んでいた、水口の母、滋賀ならびに関西のインストラクター・インスペクターの皆さんにもお礼を言いたいと思います。雑草のような僕ですけどこれからも、よろしく願いいたします。サッカーをするすべての人々の健康とご発展をお祈りして………

東レサッカー部 今村義朗

◎今村義朗氏の1級審判認定までの経過

2級審判になったのが1998年の春、当時の関西審判委員長であった西氏が2級検定の審査員で来られ滋賀に将来性のある審判員がいることが関西で評判になり、すぐに関西委員会の推薦を受け、審判の教育的な全国大会(全国教員、全国自治体)にでかけました。少し時間はかかりましたが、関西協会での指導を受けてワールドカップの年に1級に初チャレンジ、この年は、1次テストで落選。2003年は、3次テストまで行くが関東学生のゲームで出したイエローカード12枚が懲戒罰の基準(警告、退場)に合っていないことの評価から落選。3度目の正直の2004年、前回、前々回の反省がいかされて合格となった。

一度目の不合格通知は、それほどのショックは受けていない様子でした。彼らしく大らかに受け止めていたようでした。さすがに二度目の不合格通知はこたえたようでした。2度目の不合格以降に日本協会から特別枠で3度目の挑戦を推薦していただくことになりましたが、彼の気持ちの切り換えが遅く2004年のシーズン当初は、コンディション最悪で体力テストもギリギリかろうじて通過という状態でした。こちらからも、不合格の通知を受けて以来、憔悴しきった表情の彼に対して、再度、「がんばれよ」の声もかけづらい状況でした。自分自身で気持ちを切り換え、これまでの貯金でなんとかしのいで、6月の1次テスト関西学生2部には、なにもかも回復し好調さをゲームで発揮し安心させてくれました。3次は、関東学生と関西社会人それぞれ1ゲームを担当。私の見た関東のゲームは、日本大学vs慶應大。審査員が高田静夫審判委員長。今村氏の体力、気力充実コンディション良好でした。昨年の轍は踏むものかの気構えが90分間見えていました。反省会でも、判定的確さ、懲戒罰基準の確かさ。大きな体格を生かしたレフェリーらしい毅然とした対応、走力も充分とお褒めを頂きました。

すでに、彼の元には3月からのJFLの主審とJ副審の割当てを指示する連絡が来ています。1級合格したからと言っていつまでも浮かれてはおれません。Jリーグ主審、国際主審と次のステップが待ち受けています。スタートダッシュに乗り遅れないように節制と鍛錬をお願いいたします。滋賀県内のゲームに笛を吹いてくれることは少なくなるかもしれませんが、県内のサッカー関係者が胸を張れるようなレフェリングを期待しています。皆様方の心暖かい応援のほどをよろしくお願いいたします。

(村井滋賀県サッカー協会審判委員長 談)